

【精子凍結保存延長について】

延長の手続き方法

以下の4点を同封して、当院受付宛に現金書留郵便で郵送、もしくは直接当院受付にてお手続きください。

- 保存管理費
- 延長同意書
- ご主人の印鑑証明書（直近3カ月以内）
- 精子凍結保存についての当院の規定

※注意事項

- 現金書留郵便に関わる費用および手数料はご負担ください。
- 保存延長期間の記入をお願いします。
- 必ず、ご本人が直筆で署名し、捺印をお願いします。
- 捺印の際は、ご主人の印は実印を使用してください。
（実印でなかったり、印鑑証明書の提出がない場合、書類を返送し再提出をしていただく場合があります。）

自費での保存管理費（1年間）は

1本から5本まで 18,700円

6本以上 28,600円 となっています。

保険での保存管理料（1年間）は

維持管理料 2,100円

※治療が中断されている場合（妊娠中も含む）・・・延長希望の場合自費となります。

*書類に不備がありますと受理できませんので、送付前に再度確認をお願いします。

延長手続き完了

「保存管理費」「延長同意書」「印鑑証明書」「精子凍結保存についての当院の規定」の確認が取れましたら、「延長同意書」「精子凍結保存についての当院の規定」の控えと領収書をご返送いたします。

お手元に届きましたら手続きは完了となります。

精子凍結保存についての当院の規定

<凍結の開始時>

- 精子の凍結保存期間は、原則として凍結日から1年間です。
当院が保管している精子は夫所有のものとして、当院は保存期間まで責任をもって保管致します。

<患者様から当院への連絡義務>

※ご自身で保存期間の管理をお願い致します。尚、当院から患者様に対し、連絡義務はありません事を予めご承知おきください。この場合当院は、法的責任を負いかねる事も予めご了承ください。

- ①患者様は保存期間の満了日までに、凍結保存を延長するか、廃棄するかを決め、必ず当院に連絡して下さい。その場合、当院所定の書類に署名、押印して、当院へ提出して下さい。
保存期間内に連絡がない場合は、保存を延長する意思がなく、保存精子の所有権を放棄したものとみなし、保存期間が満了したら、当院にて当該、保存精子の廃棄処理をさせていただきます。
- ②連絡先（住所や電話番号）に変更があった場合には、速やかに当院に連絡してください。
- ③夫が死亡された場合は、妻が当院へ連絡し、直ちに精子は廃棄の手続きをさせていただきます。尚、妻や関係者が相続することは認めません。
- ④御夫婦が離婚された場合、妻が死亡した場合、妻が行方不明になった場合は、当院へ連絡して下さい。この場合、精子の所有権は夫に帰属し、夫との意思確認によって、その後の精子の取り扱いを判断します。
- ⑤郵送にて書類を提出する場合、郵送時に何らかの事故が生じ、当院へ届かない場合は当院が責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。（書留をご利用下さい）

<凍結保存の更新>

- ①更新を希望される場合には、保存期間満了日までに当院所定の書類に署名、押印の上、当院へ提出して下さい。同時に当院の定める更新料をお支払いください。
尚、保存期間満了日までに入金を確認できない場合には、特別の事情がない限り廃棄処分とさせていただきます。
- ②精子の凍結保存期間中に、合理的な理由に基づいて保存費用の改訂や保存期間の変更があった場合、その後は変更後の保存費用や保存期間が適用されます。

<凍結保存期間満了日以前での廃棄を希望される場合>

- 凍結保存期間の延長をせずに廃棄を希望される場合は、当院所定の書類に御夫婦で署名、押印して当院へ提出して下さい。

<保存精子を用いてARTを希望される場合>

- 保存精子の融解を希望される場合は、当院所定の書類に御夫婦で署名、押印し、当院へ提出して下さい。

<凍結保存精子の他院への移送を希望される場合>

- 当院にて凍結保存した精子の他院への移送を希望される場合は、移送先の施設の指示に従って移送の手続きをします。
移送時に何らかの事故が生じた場合や、移送先施設での融解時の操作で凍結精子が使用できなくなった場合等、当院は移送に関連する法的責任を負いかねることを予めご了承ください。

<当院の閉院等で精子の凍結保存が継続できなくなる場合>

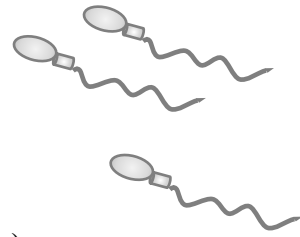
- ①閉院等で保存精子の管理が行えなくなった場合は、原則として事前に連絡し、可能な範囲でご希望に応じて他院へ保存精子を移送する手続きを行う等、できる限りの範囲で対応させていただきますが、必ず移送できるとは限らないことを、予めご承知おきください。
この場合、当院は法的責任を負いかねることも予めご了承ください。
- ②やむを得ない何らかの理由で突然閉院になった場合や、停電・火災等の事故や災害が起こった場合、やむを得ず凍結保存の継続ができなくなる場合がありますことも予めご承知おきください。この場合も上記①同様に当院は法的責任を負いかねることも予めご承知ください。但し、当院の故意・重過失の場合を除きます。

同意年月日： 年 月 日

妻氏名(自署): _____

夫氏名(自署): _____

凍結精子 保存延長 同意書



「精子凍結保存についての当院の規定」をご一読いただき、
異議がなければ、本同意書に署名してください。
質問や確認したいことがありましたら、当院までご連絡ください。

<注意事項>

- ・本同意書の提出がない、管理費用の入金がない場合は、保存延長を行うことができません。
- ・災害(天災、火災など)が起こった場合に生じる 精子の損傷・紛失に関しては、当院に対して異議申し立てはできません。
- ・患者さまの個人情報、個人情報保護法及び当院の規約を遵守して取り扱います。治療経過に関する情報は、個人が特定されない形で解析したり、日本産婦人科学会へ報告することがあります。
- ・本同意書提出後でも、精子の保存更新期限前であれば同意を取り消すことができます。

施設責任者 岡本ウーマンズクリニック 院長 岡本 純英

岡本ウーマンズクリニックに保存している
凍結精子の延長 (年間) を希望します。

西暦 年 月 日

住所 _____

夫:電話番号 _____

夫:氏名(自著) _____ 実印

妻:電話番号 _____

妻:氏名(自著) _____ 印